

主な事業概要と実績

災害援助等協力事業(国際緊急援助)

1. 事業の開始の時期・経緯・目的

● 開始時期

1987年9月、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」の施行により国際緊急援助隊は創設。

● 経緯・目的

海外の災害救援活動を行う人員を迅速に派遣する体制が必要であるとの認識の下、外務省は関係省庁ほか国内の病院、医療団体の協力を得て、海外の災害に医療チームを迅速に派遣するシステムを作ることとし、1982年、国際救急医療チーム(JMTDR:Japan Medical Team for Disaster Relief)を設立した。

その後、1985年のメキシコ地震等に対する援助の経験から、医療関係者のほかに救助、災害復旧の専門家を含む総合的な国際緊急援助体制の整備が必要であるとの認識が深まり、1987年9月、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」が国際協力の推進に寄与することを目的として施行された。

さらに、1992年6月には、国際緊急援助体制の一層の充実を図るため、自衛隊の技能、経験、組織的な機能を国際緊急援助活動に活用することを可能にする同法の改正が行われた。

2. 事業の仕組み

● 国際緊急援助隊の概要

国際緊急援助隊には、被災者の捜索・救助活動を行う救助チーム、医療活動(防疫活動を含む)を行う医療チーム、災害応急対策および災害復旧のための活動を行う専門家チーム、並びに(特に必要な場合)自衛隊部隊がある。

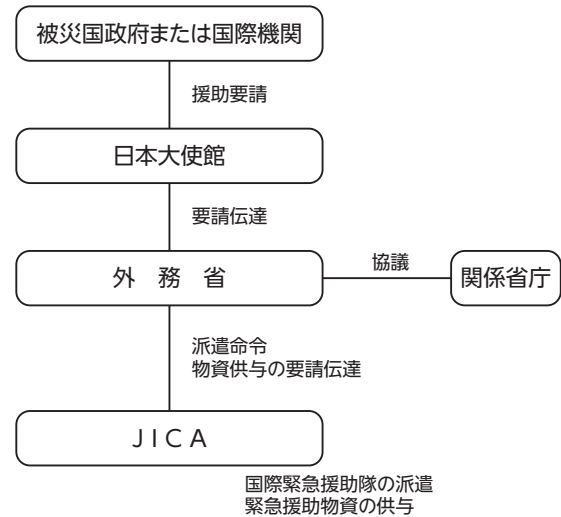
● 緊急援助物資供与の概要

国際協力機構の管理する海外4か所(シンガポール、マイアミ、フランクフルト、ヨハネスブルク)の倉庫に備蓄しているテント、毛布、発電機等を被災国に供与する。

● 審査・決定のプロセス

海外で大規模な災害が発生し、被災国政府等から日本に対して援助要請があった場合、要請の内容、災害の規模・種類等に応じて緊急援助の内容、規模について検討を行い、関係行政機関等との協議を経て決定する。援助要請

から決定までのプロセスの例は次のとおり。



3. 最近の活動内容

● 概要

2009年度においては、インドネシア地震災害やハイチ地震災害の際等に、国際緊急援助隊計7チームを派遣した。

そのほか、5月にメキシコにおける新型インフルエンザ疾患被害、8月に台湾における台風8号被害、10月にサモアにおける地震災害など合計14件、総額約2億8,000万円相当の国際緊急援助物資の供与を行った。

2009年度の主な援助案件の概要は以下のとおり。

(1) インドネシアにおける地震災害に対する緊急援助

2009年9月30日にインドネシアで発生したマグニチュード7.6の地震は、死者約1,200名を越す大きな被害をもたらした。

これに対し日本は、インドネシア政府からの要請を受け、救助チーム65名(10月1日～10月8日)、医療チーム23名(10月1日～10月14日)、自衛隊部隊104名(10月3日～10月16日)を西スマトラ州に派遣した。

各国救助チームに先駆けて日本の救助チームが最初に現地入りし、パダン市内において要救助者の捜索・救助活動の他、国連と合同で被災状況等にかかる調査の実施や他国チームとの活動調整を行うためのコーディネーション会合の開催など積極的に貢献した。

医療チームは、パリアマン市庁舎前庭において医療活動を行い、約1,400名の患者の診療に携わり、パダンパリアマン県およびパリアマン市における災害時の負傷者大量発生に伴う過剰な医療ニーズを軽減することに貢献した。

自衛隊部隊は、パリアマン市北東15キロメートルのクドゥ・ガンティン村に開設した仮設診療所などにおいて医療活動を行い、約900名の患者の診療を行った。

また、救助チームおよび医療チームの活動中には、ユスフ・カッラ副大統領(当時)が視察に訪れ激励と謝意表明がなされた。

(2) ハイチにおける地震災害に対する緊急援助

2010年1月13日にハイチ共和国で発生したマグニチュード7.0の地震は、首都ポルトープランスに壊滅的な打撃を与え、未曾有の被害をもたらした(死者・行方不明者31万人以上、負傷者31万人以上、被災者370万人以上(2011年1月12日ハイチ政府発表))。これに対し日本は、ハイチ政府からの要請を受け、国際緊急援助隊医療チーム26名(1月16日～1月29日)をレオガン市内に派遣し、約530名の被災者を診療した。その後派遣された自衛隊部隊は、医療チームの活動サイトを引き継ぎ、約3,000人の診療を行った。

●実績

| 年度 | 国際緊急援助隊の派遣 | 緊急援助物資の供与 |
|--------|--|----------------------|
| 2007年度 | 1チーム(6名) ・韓国西岸における油流出事故(専門家チーム) | 22件 (3億8,000万円相当) |
| 2008年度 | 3チーム(107名) ・ミャンマー連邦におけるサイクロン被害(医療チーム) ・中国四川省における大地震(救助チーム、医療チーム) | 23件 (4億2,900万円相当) |
| 2009年度 | 7チーム(257名) ・台湾における台風8号による被害(専門家チーム) ・インドネシア西スマトラ州パダン沖地震(救助チーム、医療チーム、自衛隊部隊) ・ハイチにおける地震(医療チーム、自衛隊部隊) ・チリ共和国における地震(医療チーム) | 14件 (2億8,000万円相当) |

4. より詳細な情報

● ホームページ

・外務省・ODA・緊急援助:

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/seisaku/keitai/kinkyu/saigai_e.html

・(独)国際協力機構(JICA)・JICA事務所実績・国際緊急援助隊活動報告:

<http://www.jica.go.jp/activities/jdrt/index.html>